

加古川町サロン代表者交流会

『地域におけるICT活用について～これからの高齢者の見守りについて考える～』と題しまして、12月15日に加古川町サロン代表者交流会を開催しました。今後サロン運営においても、ICTを活用し、普段のサロン活動のひとつのツールとして利用していただけるよう、市や包括のICT利用の現状の共有、また実際にオンライン会議を体験していただきました。グループワークではざくばらんに今後のサロン運営について話し合いをされ「再開されているサロンの話が聞けて、今後の運営の参考になった」と多くのご感想をいただきました。コロナ禍だからこそ、高齢者の集いの場の継続は、フレイル予防の観点からも重要視されています。包括かがわとしましても、サロン再開や継続に向けて微力ではありますが、ご支援をさせていただければと思っております。



再開されているサロンの話が聞けて、今後の運営の参考になった」と多くのご感想をいただきました。コロナ禍だからこそ、高齢者の集いの場の継続は、フレイル予防の観点からも重要視されています。包括かがわとしましても、サロン再開や継続に向けて微力ではありますが、ご支援をさせていただければと思っております。

加古川町内介護支援専門員・相談支援専門員合同研修会

12月24日、加古川市総合福祉会館にて加古川町内介護支援専門員・相談支援専門員合同研修会を開催し、44名もの方がご出席くださいました。今回は『障がい相談支援専門員さんとの連携』をテーマとし、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行について理解を深め、少しでも移行がスムーズにできるようともに学び、話し合いました。相談支援専門員さんとケアマネさん、普段の仕事上では、お互い関わりは多くはありませんが、お互いの立場を理解し、連携を深めていく機会になったと振り返っています。これまでの研修ではコロナ禍のためグループワークを控えていましたが、感染症対策をしっかりと行った上で久しぶりに話し合いの時間を設けまして、みなさまからは「どちらもが不安を抱えているのがわかった」「お互いに意見交換することで課題が出て、解決していくことにつながる」「今後相談できる関係性ができた」など、グループ毎に様々な意見がでました。お互い顔の見える関係性を築くことができ、実りのある時間となりました。



6包括合同介護支援専門員研修会



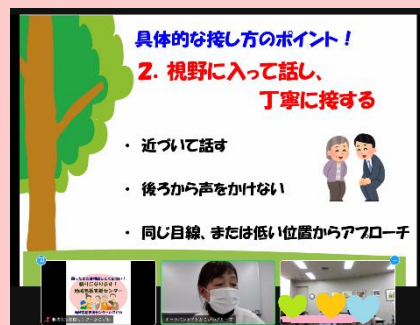
2月15日、6包括合同介護支援専門員研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの研修となり、事前に打ち合わせを入念に行った上で臨みました。92名のケアマネジャーが参加され『8050問題 ひきこもりの正しい理解とその対策』をテーマに山口大学の山根敏恵先生による講義を受けました。山根先生は「ひきこもりの長期化、親の高齢化が問題になってきている」という課題を取り上げ、ケアマネジャーとして実際に関わった事例を挙げお話ししてくださいました。更にケアマネジャーの役割として「ひきこもり者の生きづらさ、苦しさを知る」「家族と共に揺れながら寄り添う支援」などポイントを説明され「ひきこもりを何とかしよう」といった支援体制ではなく、家族支援を基盤とした体制を自治体で作っていくことが大切との思いを伝えて下さいました。2時間の山根先生のお話から「家族まるごと支援」の大切さがよく理解でき、ケアマネジャーにとって、今後の支援の方向性がみえてきた研修会になったのではないかと感じました。

兵庫大学エクステンション・カレッジ

兵庫大学エクステンション・カレッジと加古川市が連携して、地域の方々に向けて健康講座を開催されており、5回コースの内2コマを、包括かがわが講座をさせていただきました。

1 認知症サポーター養成講座

1月26日、意欲的で勉強熱心でおられる**19名**の方が、会場であるヤマトヤシキの3階にお越しくださいました。講師役である**キャラバンメイトかこがわグループ**も会場に訪問して講座を開催する予定でしたが、新型コロナの急速な感染拡大により、急遽包括から**オンライン**で実施させていただくことになりました。受講者のみなさまには戸惑われた方もおられたかもしれませんが、資料をお示しし、**動画を視聴していただいて意見交換**を行いました。まだまだオンラインで講義をすることには不慣れですが、今後オンラインでも遜色なく講座ができ、ご満足いただけるように回を重ねていきたいと思っております。



2 終活について

3月23日には、**終活**について講話をさせていただきました。お馴染みの言葉となってはいますが、実際に取り組んでおられる方は少ないように思います。なぜ今、終活が必要になってきたのかという背景をお伝えし、事前準備をすることで不安をなくし、**これからの人生をいきいきと**過ごせるようになることが大きな目的であることをお話ししました。「**こころの整理**」と「**ものの整理**」について考えるコツをお伝えし、加古川市が制作した「**マイエンディングノート**」をお渡しして取り組んでいただくようにおすすめしました。**自分らしい最期を迎えるために**、人生会議も含めて草の根的に広めていきたいと考えています。



オレンジサロン（認知症予防教室）



2月10日のオレンジサロンはオンラインに切り替えて開催しました。今回は『**認知症とお口の健康**』と題しまして、兵庫県歯科衛生士会の**歯科衛生士さん**に講話をしていただきました。**お口は命の源!** 内臓に栄養を与え、生きる為に必要なものを取り入れてくれる所なので健康増進につながり、ひいては**認知症予防**にもつながっていきます。お口の体操、名付けて「**健口体操**」を教えてください、唾液腺のマッサージに首や肩、口周りの体操を一緒に行いました。途中で脳トレもあり、オンラインでも楽しい時間となりました。これからも認知症に関連した情報をお伝えしたいと思いますので、ぜひご参加お待ちしております。

介護ほっとカフェ（介護者のつどい）



1月14日の介護ほっとカフェは、包括職員から『**消費者被害に遭わないために**』というテーマでお話しさせていただきました。だまされないような**賢い消費者**、だまされてしまっても泣き寝入りしない**強い消費者**になりましょうと話合い、おかしいな?と感じた時にはすぐに身近な相談窓口につながる大切さをお伝えしました。講話の後には**参加者同士でのピアサポート**の時間です。家族を介護することの難しさや大変さを共有し、先輩介護者から**暖かい励ましの言葉**がありました。介護に関する不安はひとりで抱え込まず、悩んでおられる方はぜひ介護ほっとカフェにご参加ください♪

お知らせ

令和4年度も**オレンジサロン**は第**2木曜日**の**13:30**から、**介護ほっとカフェ**は第**2金曜日**の**13:30**から、**加古川市総合福祉会館**で開催予定です。感染症の状況によっては**オンライン開催**に変更することもありますので、お問い合わせいただくと幸いです。また、オンライン参加のサポートもさせていただきますので、お気軽にお声かけください(*^-^*) 地域包括支援センターかこがわ ☎ 079-429-6510